

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
南九州市	南九州市	H27.4.1～R 2.3.31	H27.4.1～R 2.3.31

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標		現状(割合※1) (平成 年度)	目標(割合※1) (平成 年度)	実績(割合※1) (平成 年度)	実績/目標 ※2
排 出 量	事業系 総排出量	t	t (%)	t (%)	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t (%)	t (%)	%
	家庭系 総排出量	t	t (%)	t (%)	%
	1 事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人(%)	kg/人(%)	%
	合 計 事業系家庭系総排出量合計	t	t (%)	t (%)	%
再 生 利 用 量	直接資源化量	t (%)	t (%)	t (%)	%
	総資源化量	t (%)	t (%)	t (%)	%
熱 回 収 量	熱回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	
最 終 処 分 量	埋立最終処分量	t (%)	t (%)	t (%)	%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合－現状の割合) / (目標の割合－現状の割合) を記載。

(生活排水処理)

指 標		現 状 (平成 25 年度)	目 標 (令和元年度) A	実 績 (令和元年度) B	実績 B / 目標 A
総 人 口		38,102 人	35,560 人	34,452 人	—
公 共 下 水 道	污水衛生処理人口	3,885 人	3,690 人	4,014 人	108.8%
	污水衛生処理率又は污水处理人口普及率	10.2%	10.4%	11.7%	
集 落 排 水 施 設 等	污水衛生処理人口	1,131 人	1,108 人	975 人	88.0%
	污水衛生処理率又は污水处理人口普及率	3.0%	3.1%	2.8%	
合 併 処 理 浄 化 槽 等	污水衛生処理人口	14,088 人	16,819 人	17,360 人	103.2%
	污水衛生処理率又は污水处理人口普及率	37.0%	47.3%	50.4%	
未 処 理 人 口	污水衛生未処理人口	18,998 人	13,943 人	12,103 人	86.8%

※3 (実績の割合－現状の割合) / (目標の割合－現状の割合) を記載

2 各施設の実施状況

施策種別	事業 番号	施設の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、 再使用の 推進に関 するもの						
処理体制 の構築、変 更に関す るもの						
処理施設 の整備に 関するも の		浄化槽設置整備事業	南九州市	本市の公共下水道計画区域、農業集落排水処理施設整備事業区域以外の区域を対象に、住宅用の合併処理浄化槽を設置する者に補助金を交付する。	平成 27 年度～ 令和元年度 (平成 27 年度～ 令和元年度)	平成 27 年度：161 基 平成 28 年度：197 基 平成 29 年度：151 基 平成 30 年度：128 基 令和元年度：145 基 合計 782 基
施設整備 に係る計 画支援に 関するも の						
その他						

3 目標達成状況に関する評価

浄化槽設置整備事業における浄化槽の設置予定基数を 1,000 基としていたが、結果 782 基と予定より少ない数値となった。

設置基数が計画を下回った要因としては、本市における人口減少が予想より多くなったことにより、家屋を新築・改築する市民が減少したものと考えられる。

しかしながら、未処理人口については当初計画よりも少なくなっており、排水処理について一段と推進されたといえる。

今後も引き続き、地域の特性を十分に踏まえながら、効率的かつ効果的な生活排水処理施設の整備計画を計り、公共用水域の水質悪化に歯止めをかけ、市全域における生活環境の改善を目標におき、循環型社会形成推進交付金を活用した浄化槽設置整備事業などを進める。

(都道府県知事の所見)

南九州市の目標達成状況を見ると、合併処理浄化槽等の汚水処理人口は目標値を上回っており、また未処理人口についても当初の目標値を上回っているため、一定の成果があったと評価できる。

南九州市では新たに 5 ヶ年の計画を作成し、浄化槽設置整備事業を実施しているところであるが、更なる合併処理浄化槽の普及啓発に努め、計画的に整備を進めていただきたい。